

親子聖書日課

[日]「主なる神はこう言われる」という言葉が何度も出てきます。主の言葉こそ、全てのことを生じさせる根本原因です。御言葉に聴従しましょう。必ず、御言葉が実現します。御言葉に生きる時、主を深く知り、信仰の醍醐味を経験できます。

[月]罪を取り除くために滝に打たれ、清めの水を注ぐことはいりません。ただ主を信じ、バプテスマを受けることです。すると、聖霊が注がれ、「石の心」頑なな心が、「肉の心」愛の心に変えられます。新しい心は、努力(Try)でなく、信頼(Trust)です。

[火]「枯れた骨」が生き返るとは考えられませんが、主が「霊を吹き込む」と、生き返るのです。私達も以前は罪に死んだ霊的に枯れた骨でしたが、今は復活の主を信じることによって、生きた骨になりました。「枯れた骨よ、主の言葉を聞け！」

[水]国が分裂することによって、同胞が憎しみ争うという悲しい事態が生じました。二本の木(南・北王国)を一本にできるのは、主ご自身です。両者を和解させるために、主は十字架で死んで下さったのです。主を信じる時、一致は実現します。

[木]サタンに操られたゴク(黙20:8)は、反イスラエルの中心人物で、平和に暮らしていた民に攻め込みます。私達も救われたからといって、安心してはいけません。サタンは私達の信仰を奪おうと、必死です。御言葉の剣と祈りの盾が必要です。

[金]主が私達の主であるということは、全てが私達の思い通りになることではありません。主は義しい方ですから、私達が罪を犯す時、裁かれます。しかし、悔い改める時、その罪を赦し、主の霊を注がれます。その時、主を知ることができます。

[土]主は幻の内にエゼキエルに新しい神殿を見せ、「見ることを全てイスラエルの家に告げなさい」と言われました。幻とは、私達が好き勝手に描くものではなく、主から示されるものです。私達の教会に示された幻を確認し、その実現を祈りましょう。



NO.1919 2025.7/6-12

名前

	聖書	問題	答え
日	エゼキエル 36:1-21	主なる神の言葉をどうすべきですか。	
月	36:22-38	私はお前たちにどんな心を与え、新しい霊を置きますか。	
火	37:1-14	主が何を吹き込むと、私たちは生き返りますか。	
水	37:15-28	それらはあなたの手の中でいくつになりますか	
木	38:1-23	わが民がどのように暮らしている時、ゴクはいきり立ちましたか。	
金	39:1-29	主は二度とわが顔を隠すことなく、何をイスラエルの家に注がれますか	
土	40:1-23	何によって、私はイスラエルの地に伴われましたか。	
感想と祈りの課題			